

実施グループ：2

事業名：公共空間防犯カメラ設置事業

担当課：市民総務部市民課

検証結果（検証委員挙手数）		検証結果（市民判定人）	
あり方の再検討	4人	あり方の再検討	8人
実施方法の再構築	0人	実施方法の再構築	8人
実施内容の改善	0人	実施内容の改善	2人
現行通りの実施	0人	現行通りの実施	0人

検証委員からの主な意見

- 協定書があるからカメラ設置とはならないし、そこに市としての考えがないと今後の評価も不可能。
- 個人情報の取り扱いについて、府ガイドライン準拠ではなく、市民の個人情報にも関わるものであるので、ディフェンスだけではなくオフense（利活用）やデータの保存場所についても議論し、定めるべき。
- 市として設置するのなら、市としての目的や意図があってしかるべき。現状では費用負担のみを行っているだけ。それなら警察が自分たちの事業としてやれば良い、となってしまう。
- どこまで自分の課でやり、どこから連携していくかがわかるとより伝わりやすい。
- ゴールの無い事業に予算が使われるのは理解が得られない。テスト運用であれば、レンタル等、費用をおさえる工夫があるべき。

市民判定人からの主な意見

防犯カメラの設置目的、運用について

- ・市の主体性が全くない
- ・犯罪抑止効果へどのようにつながかが明確になっていない。
- ・安心安全まちづくり会議等で、設置希望があったことから、設置されたのではないか。市民課として、何をどのようにしようとしているのかが見えない。
- ・全体的な計画を予め協議会で検討し、役割分担を決定するべき。背景、目的、方法、検証方法など、十分協議して、計画を立てることが必要。
- ・防犯カメラを設置した結果を明確に伝えられていない。

設置目的について

- ・防犯上で設置することは賛成です。死角となりうる道路にも設置をしてほしい
- ・犯罪抑止を目的にするなら、設置を公表し、皆に知らしめるべきです。
- ・カメラを目立つようにして、防犯につなげるのか。カメラを壊さないように、こっそりつけるのか。今つけている目的が分かりません。犯罪がその場所であったときや、事件に関わる人がそのカメラの前を、たまたま通ったのであれば、カメラが役に立った！といえますが…。一般の店がつけているところとのバランスは、市では不明ですね？

設置場所について

- ・カメラを設置した場所の判断基準がわからない。
- ・警察が選定し、絞込みされた5箇所の根拠は？旧福知山の5箇所になっているが、大江町・三和

町・夜久野町は？旧福知山でも、本当の中心地だけ。必要だとは思いますが、少ない。これで市民の安全が守れるのか？

- ・設置場所を見ると市街地ばかりで、むしろ人通りの少ない場所に設置した方がよいのではないかと思います。

運用について

- ・運用の方針が不明確。
- ・防犯カメラの必要性は分かりますが、個人のプライバシーの問題がとりあげられていないのは気になります。
- ・設置時には、リスクアセスメントや適切な評価をまとめておく。
- ・設置後、本当に役立つカメラになっているのか、テストがされているのか。
- ・防犯ならば（事前に防ぐ）、ダミーをつけていくことも考えられると思います。

その他

- ・市ではなく、国・府の事業ではないか。
- ・警察側も費用を負担すべきでは。
- ・協定については、今後どのように警察と取り組んでいくのか？
- ・防犯は大切です。もっとカメラは増やしてほしい。
- ・職員の方がもっと必要性、重要性を感じてほしいです。目的がしっかりされていない。その様な仕事で大丈夫ですか？市民総務部・市民課の仕事はどの様な事ですか？業務に対してもっと意識を高めてほしいです。
- ・大切なことだと思いますが、ドローンとか別の防犯の事業も考えられるのでは。